

# 自らのキャリア・デザインを

学長

鈴木 康司  
すずき こうじ



入学おめでとう。新入生となった君たちを中央大学は諸手を挙げて歓迎します。

君たちにとって何よりもまず新鮮なのは、これまで君たちが学んできた小・中・高等学校と違い、大学では何をすることも自己の責任と判断において行うということでしょう。

時間はたっぶりありますし、強制的な勉強は課せられません。その日その日を遊んでいても誰からもとがめだてされずに済みます。

しかし、周囲から圧力はかからないう代わり、自分がすべての結果を背負わなければならない。他人のせいにすることはできません。そのことを先ずしっかりとわきまえて下さい。受験勉強から解放された喜びで大きい

に青春を謳歌するもよし、あるいは大学でこそ強制されない真の学問をと思い立つもよし、あるいはサークル活動や個人の趣味に没頭しようとするもよし、各人各様であるでしょう。それもすべて、己の責任において全つすることです。自分の頭で考え、行動し、個性を培い、実力をつける、それが大学です。

君たちのなかには既に人生の目的をある程度定め、例えば法律家になるために法学部に入学した人、グローバルな経済知識を身につけたいと経済学部に入った人、公認会計士を目指して商学部に入学者した人、自然科学に打ち込むために理工学部に入った人、文学や歴史が大好きなので文学部に入った人、国際関係分野での仕事を目標として総合政策学部に入

った人、その他様々な目的の人がいると思います。

しかし、大部分の諸君はまだやっとな受験を終えたばかりで、はつきりした目的を持たずに大学に進学したのではないのでしょうか。だからといって、慌てるには及びません。君たちの前には四年という期間が待っています。じっくりと将来について考え、自分なりの答えを探して頂きたい。その答え探しに役立つ学習プログラムを、今年の新入生諸君が二年になった時に利用できるような全学的に作っている最中です。昨年、全学でこのプログラムを作ることが同意され、実行に移すための委員会が現在、鋭意これに取り組んでいます。名称は、ファカルティリンケージ・プログラムといい、学部間の壁を超えて副専攻のような形で取れるゼミおよび講義です。ジャーナリズム研究、環境学、国際協力、スポーツと健康など、未だ検討中なのですが、いずれ、この中からいくつかのプログラムが開設されて、二年から四年まで専攻以外に能力のグレードアップを図りたい諸君には大変役に立つでしょう。このようにして幅の

広い学問を身につけ、複眼的思考を培ってください。

大学はいろいろな考え方、いろいろな思想を受け入れて、自由に研究し、論議し、発展させて行くところです。思想と研究の自由は何よりも大学の生命です。ですから、諸君たち、一人一人が自分で自由に物を考え、積極的に答えを出して進むことが要求されるのです。中央大学には広範な学問分野に互って優れた業績を上げている一流の先生方が大勢おられます。しかし、このような先生方の真価に接したいのなら、受け身の姿勢ではだめです。自分なりの問題意識に基づいて勉強した結果を質問の形で積極的に先生にぶつけ、先生との対話を通じて己れ自身の答えを生み出すことが大切です。そうすれば、まだ新入生の段階では自分のキャリアについて確固とした目的を持たない人も、四年の間にデザインができるはずですよ。君たちの人生にとってこの時間は社会に羽ばたく助走の時です。中央大学に学んで良かったと明言できるよう積極的に生きて下さい。